

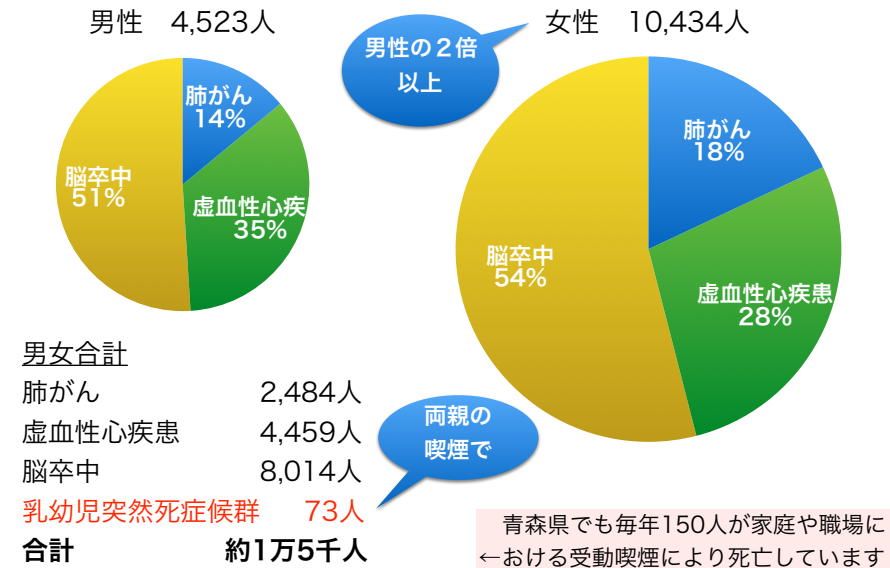
# 青森県でも受動喫煙防止条例の制定が必要です



例外のない屋内全面禁煙を定めたWHOタバコ規制枠組み条約ガイドラインが2007年に採択され、日本の実施期限は2010年でした（2020年ではありません）  
2018年の改正健康増進法は除外範囲が大きく、全国の都府県で条例制定が進んでいます

2019年5月31日 WHO世界禁煙デー 発行：青森県タバコ問題懇談会

# 受動喫煙で年間1万5千人が死亡！ 2014年推計

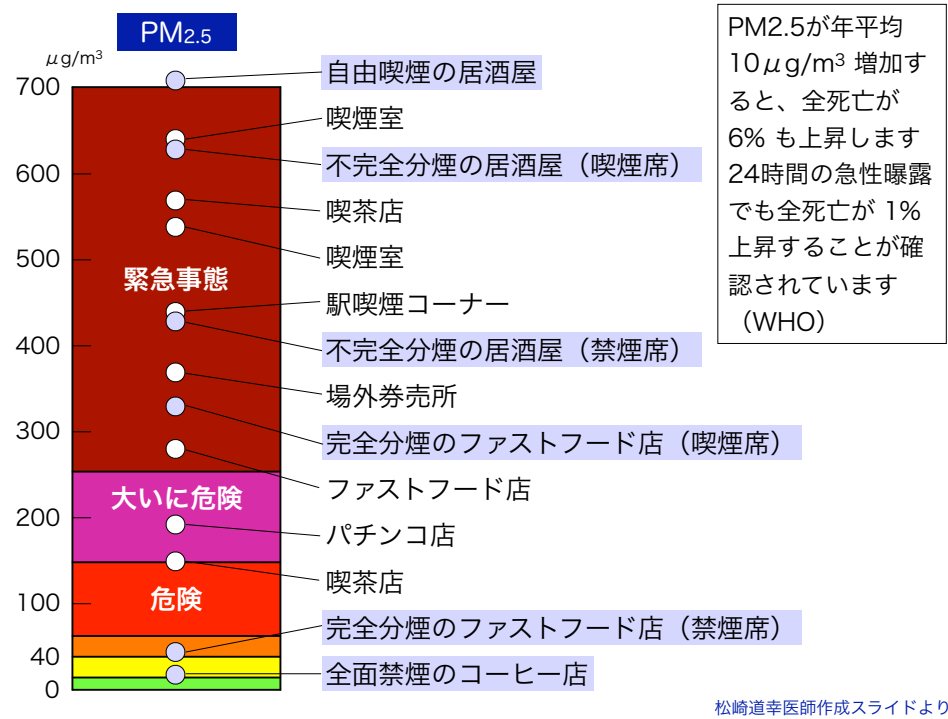


2016年 厚生労働省『タバコ白書』より

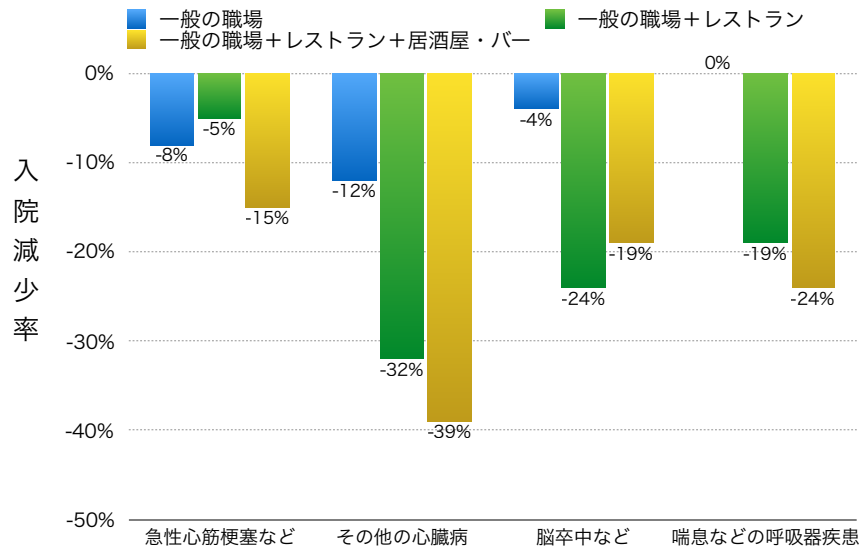
## タバコは老化促進剤

22歳の双子が40歳になったら？

BBCによるシミュレーション



## 全面禁煙で心筋梗塞や脳卒中の入院が10-20%減少する



Tan C, et al. Circulation. 2012; 126: 2177-2183

## 健康増進法に条例を加えても受動喫煙ゼロになりません



家庭・車内・三次喫煙	<b>タバコ規制枠組み条約遵守 例外のない屋内全面禁煙</b> (喫煙室設置不可)	安全	屋外・道路・公園
	<b>「受動喫煙防止条例」</b> 従業員のいる店は例外なく禁煙 (喫煙室設置可)	まだ危険	
	<b>改正健康増進法 (2018)</b> 小規模飲食店等の例外規定あり (喫煙室設置可)	キケン	

青森県医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会など16団体は青森県と県議会に条例の制定を求める要請書を提出しています

## オリンピック開催都市・地域には受動喫煙防止法・条例が必須

1988 IOC オリンピックを禁煙に

2005 タバコ規制枠組み条約

2008 北京 屋内全面禁煙

2012 ロンドン 禁煙

2016 リオデジャネイロ 禁煙

2020 イスタンブール 禁煙

2020 マドリード 禁煙

2020 東京 条例なし  
(→2018 条例制定)

五輪招致団が歓喜の凱旋  
2020年への感謝と決意

タバコの煙で  
おもてなし?

2019年 八戸市屋内スケートリンク 21年 ジュニア国際大会

## タバコをめぐる5つのウソと誤解

- タバコはストレス解消になる** → ニコチン切れのイライラが一時的に解消されるだけで、「**ニコチン依存症**」という病気です
- 禁煙はつらく苦しいので無理だ** → **禁煙補助薬**により楽に禁煙することができます。かかりつけの医師・薬剤師に相談を
- 分煙で受動喫煙は防止できる** → 喫煙室や分煙装置で受動喫煙が防げないことは、WHOや日本政府も認めています
- タバコ税で社会に貢献している** → 医療費や死亡による損失などで税金の倍以上も社会に負担をかけています
- 祖父はタバコを吸って長生きした** → そういう人はごくわずかな例外で、喫煙者の半数近くは70歳まで生きられません